患者さんへのお知らせ

令和7年4月1日 現在

厚生労働省告示第107号に基づく「厚生労働大臣が定める掲示事項」は、下記のとおりです。

保健医療機関の指定

当院は保健医療機関の指定を受けています。

入院基本料に関する事項

地域一般入院基本料(地域一般入院料1)を算定する当院では、1日に9人以上の看護職員を配置しております。

- 朝9時~夕方17時まで、看護職員1人当たりの受け持ち数は8人以内です。
- 夕方17時~朝9時まで、看護職員1人当たりの受け持ち数は20人以内です。

厚生局長への届出事項に関する事項

1. 当院は、次の施設基準に適合している旨の届出を行っています。

(1)基本診療科の施設基準に係る届出

- 一般病棟入院基本料 地域一般入院基本料 (地域一般入院料1)
- 看護補助加算2
- 療養環境加算
- 重傷者等療養環境特別加算
- 診療録管理体制加算2
- データ提出加算1及び3

(2)特掲診療科の施設基準に係る届出

- 運動器リハビリテーション料(I)
- 脳血管疾患等リハビリテーション料(III)
- 麻酔管理料(I)
- 外来・在宅ベースアップ評価料(1)
- 入院ベースアップ評価料
- CT撮影及びMRI撮影

医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6 (歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術の施設基準 (令和6年1月~令和6年12月の実績)

区分	手術名	件数	区分	手術名	件数
1	ア 頭蓋内腫瘍摘出術等	0	3	ア 上顎骨形成術等	0
	イ 黄斑下手術等	0		イ 上顎骨悪性腫瘍手術等	0
	ウ 鼓室形成手術等	0		ウ パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	0
	エ 肺悪性腫瘍手術等	0		エ 母指化手術等	0
	オ 経皮的カテーテル心筋焼灼術	0		オ 内反足手術等	0
2	ア 靭帯断裂形成手術等	0	カ 食道切除再建術等	0	
	イ 水頭症手術等	0	キ 同種死体腎移植術等	0	
	ウ 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0	4 胸腔鏡下・腹腔鏡下手術等	0	
	エ 尿道形成手術等	0	その他	ア 人工関節置換術	75
	オ 角膜移植術	0		イ 乳児外科施設基準対象手術	0
	カ 肝切除術等	0		ウ ベースメーカー移植術及びベースメーカー交換術	0
キ 子宮附属器悪性腫瘍手術等	0	エ 冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないものを含む)及び体外循環を要する手術		0	
			オ 経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈粥腫切除術及び経皮的冠動脈ステント留置術	0	

(3)その他届出

- 酸素単価

2.当院は、入院時食事療養/生活療養(I)の届出に係る食事を提供しています。

入院時食事療養/生活療養(I)による食事の提供では、管理栄養士によって管理された食事が適時(夕食については午後6時以降)、適温で提供されます。

保険外負担に関する事項

当院は、以下の事項について、その使用に応じた実費の負担をお願いしています。

1. 文書料
2. 予防接種
3. おむつ代等

※ 詳しくは1階受付もしくは4階スタッフステーションにお尋ねください。

特定療養費に関する事項(個室料一覧)

部屋	料金(消費税込)	付帯設備
305号室	8,800円	テレビ 小机 椅子 ロッカー 冷蔵庫 洗面台 トイレ シャワー
306号室	11,000円	テレビ 小机 椅子 ロッカー 冷蔵庫 洗面台 トイレ シャワー
307号室	8,800円	テレビ 小机 椅子 ロッカー 冷蔵庫 洗面台 トイレ シャワー
308号室	8,800円	テレビ 小机 椅子 ロッカー 冷蔵庫 洗面台 トイレ シャワー
406号室	8,800円	テレビ 小机 椅子 ロッカー 冷蔵庫 洗面台 トイレ シャワー
408号室	8,800円	テレビ 小机 椅子 冷蔵庫 洗面台

「個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書」の発行について

当院では、医療の透明化や患者への情報提供を積極的に推進していく観点から、平成30年4月1日より、領収書の発行の際に、個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を無料で発行しております。

また、公費負担医療の受給者で医療費の自己負担のない方についても、明細書を無料で発行しております。

なお、明細書には、使用した薬剤の名称や行われた検査の名称が記載されるものですので、その点、ご理解いただき、明細書の発行を希望されない方は、会計窓口にてその旨をお申し出ください。

医療情報取得加算

オンライン資格確認を行う体制を有しています。正確な情報を取得・活用するためマイナ保険証の利用にご協力をお願いいたします。

※ マイナ保険証を利用いただくと、他の医療機関で処方された薬剤情報や特定検診の情報をオンラインでの確認も可能となります。診療に必要な正確な情報を取得・活用することにより質の高い医療の提供に努めます。

一般名処方加算

後発医薬品のある医薬品について、特定の医薬品名を指定するのではなく、薬剤の成分をもととした一般名処方を行う場合があります。特定の医薬品の供給が不足した場合であっても、一般名処方によって患者様に必要な医薬品を提供しやすくなります。